

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	総合国語Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0053		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	国語総合 古典編（大修館書店）,「現代文B」（教育出版）					
担当教員	近藤 周吾					
到達目標						
さまざまなジャンルの文章に触れるが、構成を考えながら文章を読み取る力を育てる。また、三段落構成で論理的な小論文を書く。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	論理的文章や文学的文章を正確に理解し、分かりやすく説明することができる。		論理的文章や文学的文章を正確に理解することができる。		論理的文章や文学的文章を正確に理解することができない。	
評価項目2	課題文を踏まえて、600字程度の小論文を構成を考えて、的確な表現で、論理的に記述することができる。		課題文を踏まえて、600字程度の小論文を構成を考えて、ある程度の確かな表現で、論理的に記述することができる。		課題文を踏まえて、600字程度の小論文を構成を考えて、的確な表現で論理的に記述することができない。	
評価項目3	日本の代表的な古典作品を読み、その内容を正確に理解し、それが文学史的な位置づけや現代における意義を理解し、分かりやすく説明することができる。		日本の代表的な古典を読み、その内容をある程度正確に理解し、それが文学史的な位置づけや現代における意義を理解することができる。		日本の代表的な古典を読み、その内容を理解し、それが文学史的な位置づけや現代における意義を理解することができできない。	
学科の到達目標項目との関係						
ディプロマポリシー 3						
教育方法等						
概要	1年生に引き続き、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、言語を通したコミュニケーション能力を高めること。また、豊かな言語文化に触れることを通して、思考力を伸ばし、心情を豊かにする術を身に付け、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深めること。また、古典や過去の言語文化と今日のつながりを実感しながら、ものの見方・感じ方・考え方を広め、人生を豊かにする態度を身につけ、日本文化を理解する一助とする。					
授業の進め方・方法	講義に加えて、小テストを実施する。による講義を主体とするが、双方向のやりとりを重視する。					
注意点	評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けられる場合がある。追認試験の結果、単位の修得が認められたものは、その評価を60点とする。 受講する皆さんへのメッセージ： ・授業を通して自ら考える力をつけてほしい。受け身ではなく、積極的な授業参加を期待している。 ・シラバスは大枠であり目安である。本講義は理解度を確認しながら進めるため、内容や進度を厳格に規定するものではないことは許容していただきたい。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 故事成語		今年度のシラバス説明。 故事成語	
		2週	先従隗始		「先従隗始」を音読し、内容を理解する。	
		3週	先従隗始		「先従隗始」の前半を句形に注意しつつ、解読する。	
		4週	先従隗始		「先従隗始」の後半を句形に注意しつつ、解読する。	
		5週	自然と人間関係をとおして考える		全文を読み、全体の構成を考える。 第一段落を読んで内容を分析し、理解する。	
		6週	自然と人間関係をとおして考える		第一段落を読んで内容を分析し、理解する。	
		7週	自然と人間関係をとおして考える		第二段落を読んで内容を分析し、理解する。	
		8週	前期中間試験		既習事項の確認と定着を図る。	
	2ndQ	9週	唐代の詩 絶句 江雪		「絶句」「江雪」を音読し、書き下し文に改め、内容と作者の思いを理解する。漢詩の技法を理解する。	
		10週	唐代の詩 送元二使安西 春望		「送元二使安西」「春望」を音読し、書き下し文に改め、内容と作者の思いを理解する。漢詩の技法を理解する。	
		11週	唐代の詩 雑説		「雑説」を音読し、書き下し文に改め、内容を理解する。比喩の表すものを考える。	
		12週	唐代の詩 雑説		「雑説」を音読し、書き下し文に改め、内容を理解する。比喩の表すものを考える。	
		13週	城の崎にて		全文を読み、大意を把握する。	
		14週	城の崎にて		表現に注意しながら、細部を解釈する。	
		15週	期末試験		既習事項の確認定着を図る	
		16週	試験返却・復習		試験を返却し、これまでの学習事項の復習および定着を図る。	
後期	3rdQ	1週	表現・小論文		表現編および小論文のノートを使って、さまざまな表現および600字の小論文の書き方を学ぶ。	
		2週	表現・小論文		表現編および小論文のノートを使って、さまざまな表現600字の小論文の書き方を学ぶ。	
		3週	表現・小論文		実際に600字の小論文を書いてみる。	
		4週	表現・小論文		600字の小論文テストを受ける。	

		5週	平家物語 木曾の最期	ここまでの経緯を理解する。合戦の場面を音読し、表現の特徴と内容を理解する。 漢字小テスト第25回
		6週	平家物語 木曾の最期	巴御前との別れの場面を音読し、それぞれの心情を理解する。 今井四郎と義仲の思いの違いを理解する。
		7週	平家物語 木曾の最期	今井四郎と義仲の思いの違いを理解する。 義仲の最期の場面を音読し、義仲の死の意味を考える。 漢字小テスト第26回
		8週	後期中間考査	既習事項の確認と定着を図る。 それまでの学習方法の反省。
	4thQ	9週	ゆらぐ科学のリアリティー	全文を音読し、構成を考える。 第一段落を読み、内容を理解する。
		10週	ゆらぐ科学のリアリティー	第二段落を読み、内容を理解する。
		11週	ゆらぐ科学のリアリティー	第三段落を読み、内容を理解する。 科学の今後について筆者の主張を読み取る。
		12週	ミロのヴィーナス	全文を音読し、構成を考える。 第一段落を読み、内容を理解する。
		13週	ミロのヴィーナス	第二段落を読み、内容を理解する。
		14週	ミロのヴィーナス	第三段落を読み、内容を理解する。 芸術とは何かについて筆者の主張を読み取る。
		15週	期末試験	既習事項の確認定着を図る
		16週	試験返却・復習	試験を返却し、これまでの学習事項の復習および定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	10	0	0	0	20	100	
基礎的能力	70	10	0	0	0	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	